

# 2019年3月期 第1四半期 決算資料

## 決算のポイント

- ・売上収益は、車両の生産増加や拡販、および昨年子会社化したデンソーテンとTDモバイルの影響などにより、増収
- ・営業利益は、操業度差益や合理化努力などがあったものの、将来の競争領域への投資の加速などにより、減益
- ・主に第1四半期決算の業績のみを反映し、上期及び通期の予想を、前回公表より上方修正

## 1. 連結決算概要 (IFRS)

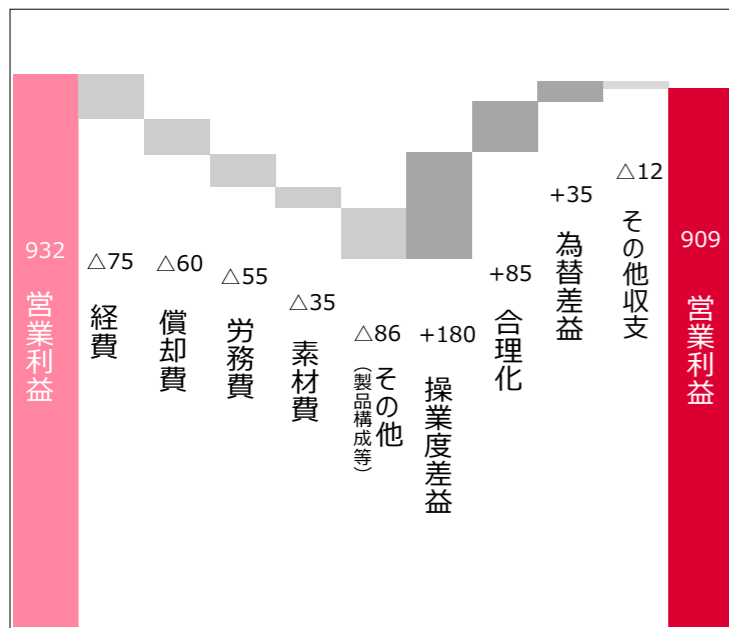
( ) 内は売上収益比 [単位: 億円、%]

科目	18/6期実績		17/6期実績		前年比		18/9期予想		19/3期予想					
	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	当初予想	最新予想	当初予想	最新予想				
売上収益	(100.0)	13,312	(100.0)	11,649	1,662	14.3	(100.0)	25,800	(100.0)	26,600	(100.0)	53,200	(100.0)	54,000
営業利益	(6.8)	909	(8.0)	932	△23	△2.4	(5.7)	1,470	(6.1)	1,610	(7.1)	3,760	(7.2)	3,900
税引前利益	(8.2)	1,091	(9.8)	1,137	△47	△4.1	(6.6)	1,700	(6.7)	1,790	(7.8)	4,150	(7.9)	4,270
当期利益(※)	(5.8)	773	(6.6)	767	6	0.8	(4.3)	1,100	(4.5)	1,200	(5.5)	2,900	(5.6)	3,030
為替レート(US\$)		109円		111円				105円		107円		105円		106円
為替レート(ユーロ)		130円		122円				130円		130円		130円		130円
国内車両生産		225万台		224万台				450万台		457万台		951万台		958万台
海外日系車両生産		513万台		488万台				1,034万台		1,043万台		2,087万台		2,095万台

※親会社の所有者に帰属する当期利益

## 2. 営業利益増減要因 (17/6→18/6)

[単位: 億円]



17/6

18/6

## 3. 所在地別セグメント情報

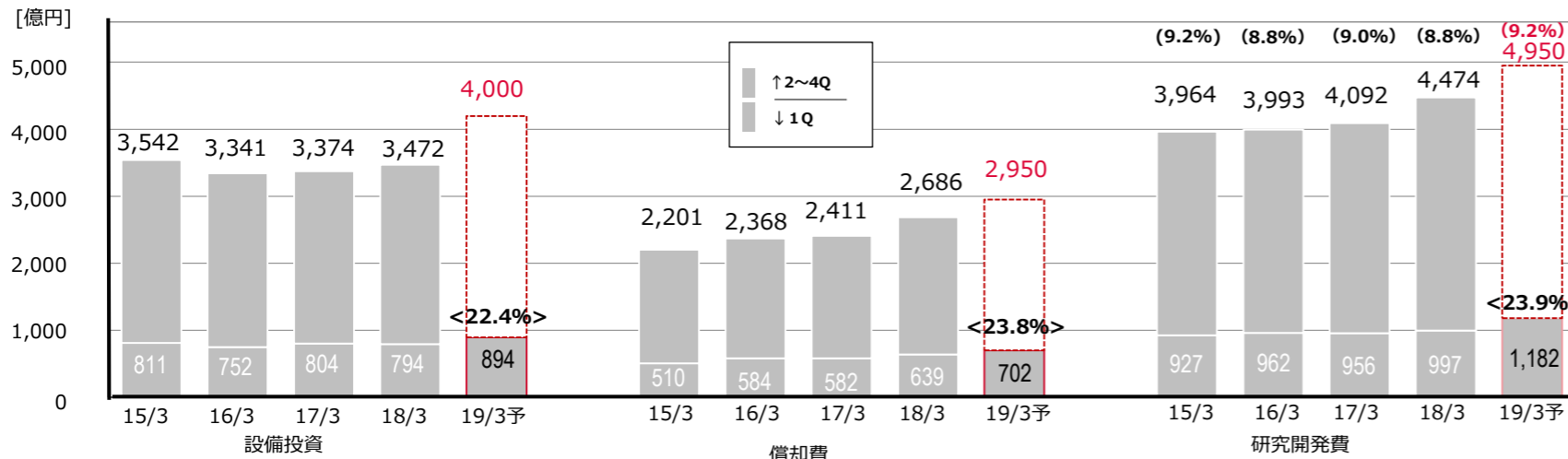
[単位: 億円]

セグメント	18/6期実績		17/6期実績		増減率		19/3予想	
	利益率	利益率	増減率	増減率	(現地通貨)	増減率	利益率	
売上収益								
日本	7,788	-	6,757	-	15.3%	15.3%	33,130	
北米	3,109	-	2,810	-	10.6%	12.4%	11,510	
欧州	1,820	-	1,596	-	14.0%	8.3%	6,880	
アジア	3,581	-	2,996	-	19.5%	16.3%	14,160	
その他	171	-	191	-	△10.4%	7.5%	730	
消去	△3,158	-	△2,702	-	-	-	△12,410	
連結	13,312	-	11,649	-	14.3%	13.5%	54,000	
営業利益								
日本	341	4.4%	374	5.5%	△8.7%	△8.7%	1,780	
北米	116	3.7%	170	6.0%	△31.4%	△29.5%	405	
欧州	70	3.9%	58	3.7%	20.5%	15.2%	265	
アジア	337	9.4%	285	9.5%	18.2%	13.8%	1,340	
その他	26	15.2%	33	17.5%	△22.3%	△5.9%	110	
消去	18	-	11	-	-	-	0	
連結	909	6.8%	932	8.0%	△2.4%	△3.2%	3,900	

( ) 売上収益比

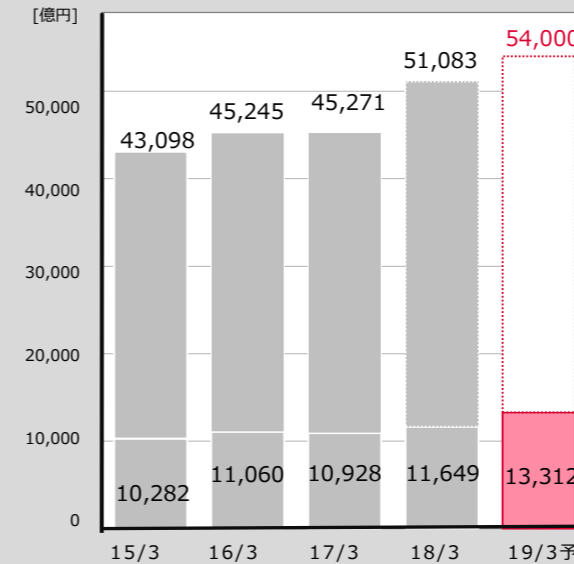
< > 19/3予に対する進捗率

## 4. 設備投資・減価償却費・研究開発費の推移

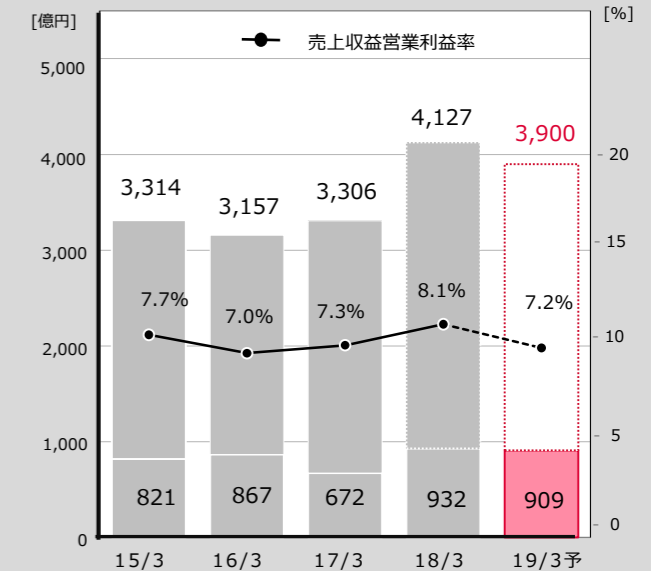


## 参考

### ① 売上収益の推移



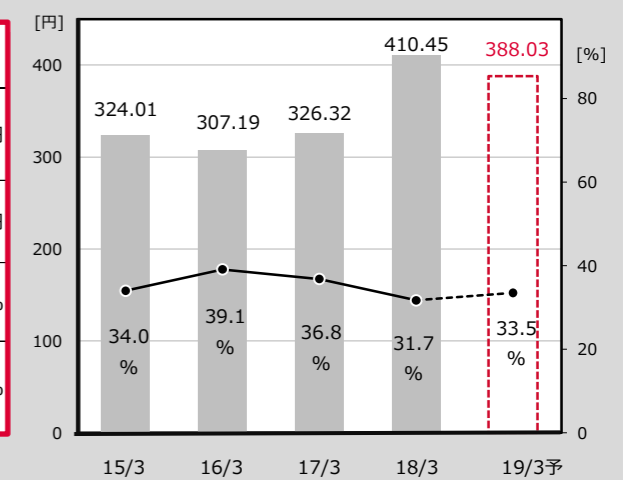
### ② 営業利益の推移



### ③ その他財務指標 (連結)

	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期 予想
一株当たり 当期利益 (EPS)	324.01 円	307.19 円	326.32 円	410.45 円	388.03 円
一株当たり 配当金	110 円	120 円	120 円	130 円	130 円
配当性向	34.0 %	39.1 %	36.8 %	31.7 %	33.5 %
自己資本 当期利益率 (ROE)	8.4 %	7.6 %	8.0 %	9.3 %	8.2 %

### EPS・配当性向の推移



## 直近の取り組み事例: サステナビリティ経営 優先取組課題の選定

### 環境

- 温暖化防止
- 大気汚染防止/環境負荷物質削減
- 資源有効利用
- 水資源の保全

### 安心

- 安心安全な製品提供  
→ 自由快適な移動の提供
- 交通事故低減
- 少子高齢化(労働力不足)

### 企業基盤

- 人材活躍推進 (多様性促進など)
- 働き方改革 他6項目

